



横手・大館・大曲教室の習学ゼミ生 令和3年度 秋田県立高校 **85名** 合格！

大館鳳鳴高校 **24名** 横手高校 **13名**

※鳳鳴高校の新1年生の約1割が習学ゼミ生です！

中学3年生のみなさん高校受験の勉強は、いつごろから始めるつもりですか？「部活を引退してから。」「2学期から。」では遅い！高校受験は、ゴールは同じなのに、スタートは自由なのです。早くスタートすればその分あとからスタートする人より、余裕のある受験勉強ができます。

中学校、地域によって、日程は異なりますが、来年3月の一般選抜に向けて、中学校で模擬試験(実力テスト)が行われます。これは、専門の業者が、秋田県の入試問題の出題形式や、難易度を研究して作成したもので、入試までに6～10回程度受験します。中学校の成績表には影響しませ



んが、現在の自分の実力を測り、時間配分など試験の形式に慣れるために非常に重要です。また、11月頃から行われる三者面談で、先生・保護者と相談し受験校を決めていきますが、この実力テストの点数によっては、志望校を変更するように勧められることもあります。秋までに、自分の志望校に合格できる実力をつけましょう！

今回は、受験生となった3年生に、実力テスト対策の学習の仕方を習学ゼミの先生からアドバイスします。1・2年生も参考にしてください。



横手教室 齋藤 亮太 先生

範囲表に目を通すとき、最も後回しになりがちなのが国語かもしれません。範囲表の少ないヒントの中で、以下の点を踏まえて学習計画を練っていただけたらと思います。

- ①出題が【古文】であれば「歴史的仮名遣いを現代仮名遣い」になおす問題、【漢文】であれば「返り点を打つ／書き下し文にする」問題を確認する。
 - ②【文法・表現】から、品詞の識別／活用／対義語や同音異義語／慣用句など、出題が予告されている単元を復習する
- とはいえ、得点の多くは文章問題ですから、皆さんにはぜひ「一週間に一題ずつ、初見の説明的文章／小説を解く」といった習慣を通じて、早期から読解力を涵養してもらいたいです。

「There is no royal road to learning」！



大館教室 田中 靖人 先生

地理・歴史分野は総合力が問われます。範囲表に書かれている分野を、教科書や、受験対策の問題集で確認しておきましょう。都道府県の位置や、主な国の位置を地図帳で確認しましょう。歴史は、時代ごとではなく、「人物」「外交」「文化」といったテーマを決めて、年表形式でまとめてみましょう。3年生で学習する現代以降の歴史、公民は、学校で学習してすぐに、実力テストで出題されることが多いです。学校の授業もしっかりと理解し、覚えていくことが得点につながります。どの分野を復習するべきか、わからないときには、範囲表を持って習学ゼミの先生に相談してください！



横手教室 伊勢谷 直人 先生

出題範囲の活用ですが、どんな内容が出るか詳しく書いてあるので、それに対応する問題を受験用テキストや自分で準備した問題集で演習しましょう。実際に問題演習を進めていくと、テストまでに全範囲終わらなそうだな、という時もあるでしょう。その場合は自分がまだしっかり取り組めていない分野を優先してください。この分野で聞かれることは大体わかったな、問題を解くのも速くなったな、計算ミスもなくなったな、という所まで進められれば、自信をもって試験に臨めます。高い目標を持つ方は、出題範囲が事前にわかっている試験で高得点が取れるのは当然と考えて、出題範囲と別に自身の課題を見つけて取組んでいきましょう。最後に、迷った場合は習ゼミの先生に相談を！



横手教室 太田 亮 室長

理科の範囲表は出る内容が具体的に示されていることが多く、練習した実験問題や用語がそのまま出題されることも少なくありません。例えば、「植物のからだのつくりとはたらき・被子植物の茎のつくりやはたらきを調べる実験を確認しておこう」と範囲に書かれていたとすれば、赤く色を付けた水を植物に与え、茎の断面の色の変化を確かめる実験の問題を練習すればいいことになります。教科書や受験対策用テキストに載っている実験問題を練習するのがベストですが、そのほかのテキストなどから類似問題を自分で探し出して練習することも有効です。理科の問題は問われている内容は同じでも表現の仕方を変えているものがたくさんあります。今のうちにしっかりと類題の演習に慣れておきましょう。



大館教室 柳谷 綾香 先生

英語はより総合力が問われる教科です。出題内容としていくつか単元が指定されますが、それだけでは高得点は望めません。総合力を伸ばすためには、学習した単語や熟語、文法を使う知識として普段からコツコツと身につけていくことが必要です。単語や熟語は、書く・声に出して読む、を何度も繰り返しましょう。単語をしっかりと覚えたら、ワークなどで文法問題を何度も解いて、文の形や語順などのルールを確実に身につけていきましょう。黙々と勉強するだけではなく、音読をしながら学習をすると学習内容の定着度が上がります。自分の身近な内容に文を置き換えて覚えることもおすすめです。長文問題にも取り組み、意味の分らなかった文はその文法をしっかりと復習しておきましょう。

